

うるま市 × 宇都宮市 友好都市



友好都市に 至る経緯

宇

都宮とは、平成27年度から職員レベルでの交流から始まり昨年度までに、うるまルシエでの宇都宮フェアの開催、グリーンスローモビリティの貸与、宮祭りへのエイサー団体の参加、栃木SCによる市内でのキャンプ実施など文化面や経済面での交流も多数行っている状況でした。

また、うるま市の「うるまルシエ」と、宇都宮市の道の駅である年間100万人の来場が見込まれる「ろまんちっく村」においては、同様の指定管理者が運営をしており、両市の農水産物および物産の振興や販路拡大、双方の様々な事業のフィールドとして機能することも期待されています。

友好都市提携をきっかけにして、お互いが持つ資源や強みを提供し、市・企業・人との交流を深めさらなる両市の発展に寄与するため友好都市提携を締結する運びとなりました。



次世代路面電車LRT (ライトライン)



「宇都宮・うるま市友好都市号」うるまのデザインがラッピング



宇都宮調印式での様子



宇都宮ってどんなところ？

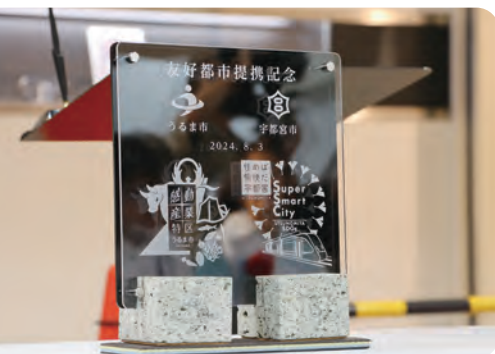
宇都宮 どんなところ？

都

会の利便性と豊かな自然が共存したまち、「栃木県宇都宮市」

全国で初めて全線新設の次世代路面電車「ライトライン」が開業し、通勤・通学や買い物、観光など、日常生活の移動手段として浸透しています。

コンパクトなまちが公共交通でつながり、子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望が叶うまち「スーパースマートシティ」です。



友好都市提携記念プレート



パレード中に手を振る両市長



2日間で58万人が参加する「ふるさと宮まつり」